

7. 教育・普及事業

■ イベント・ワークショップ ■

<キッズ TARO のギャラリートーク>

- 日 程 2010 年 8 月 14 日 (土)、8 月 28 日 (土)
内 容 小学校 3～6 年生の「キッズ TARO」が、自ら選んだ岡本太郎作品について調べ、ギャラリートークを行う
場 所 企画・常設展示室
料 金 無料
参加数 8 月 14 日 (土) 児童 2 名、一般観覧者 約 40 名
8 月 28 日 (土) 児童 1 名、一般観覧者 約 20 名



<夏休み・美術館探検ツアー>

- 日 程 2010 年 8 月 7 日 (土)、8 月 21 日 (土)
内 容 中学生～高校生を対象に、クイズを解きながら展示室や一般には公開されていないバックヤード等、作品を保存するための施設や設備を見学。美術館の裏側を探検する
場 所 企画・常設展示室、バックヤードなど
料 金 無料
参加数 8 月 7 日 (土) 生徒 20 名、8 月 21 日 (土) 生徒 21 名



<みんなで楽しく！岡本太郎の作品鑑賞>

- 日 程 2010 年 8 月 11 日 (水)、8 月 25 日 (水)
内 容 当日集まった小学生～中学生が、一緒に美術館を巡ります。美術館職員の作品解説を聞いたり、参加者が自由な感想を述べ合ったりしながら、作品の新しい魅力を発見する。
場 所 企画・常設展示室
料 金 無料
参加数 8 月 11 日 (水) 生徒 30 名、8 月 25 日 (水) 生徒 30 名



<ワークショップ・夏のかさ大感謝祭>

- 日 程 2010 年 8 月 22 日 (日)
内 容 小学生以上の児童が保護者と一緒に、思い出の傘・お気に入りの傘を持ち寄って、みんなでひみつ基地をつくる。完成した外観を鑑賞したり、傘で出来たひみつ基地の中から外の世界を観賞する。
講 師 今井紀彰氏 (コラージュ作家)
場 所 創作アトリエ、《母の塔》下
料 金 無料
参加数 生徒 13 名、保護者 15 名



<池田龍雄展 ワークショップ「箱の中へ…」 ボックス・アートを作ろう>

日 程 2010 年 10 月 24 日 (日)
講 師 池田龍雄
場 所 創作アトリエ
参加者 小学生以上 (小学生は保護者同伴) 25 名
申込み 先着順、9/15 より電話受付開始
参加料 無料
内 容 作家・池田龍雄氏を講師に迎え、シリーズ『箱の中へ…』の作品をヒントとして、オブジェ制作のワークショップを行った。参加者は、持参した箱に思い出の品や不用品等を配置して、箱の中に自分だけの「世界」を形作っていく。

【参加者に用意してもらったもの】

箱 (サイズは最大で A4 以下、できれば蓋つき、木 or 紙製) 不用になったもの (箱に入るサイズ)、卵のから、貝殻、包装紙等

【美術館で用意したもの】

木工用ボンド、アロンアルファ、はさみ、カッター、ダンボール、針金、ペンチ、アクリル絵具、ガンタッカー、ひも (タコ糸)、卵の殻、貝殻、お菓子の包装紙等



ワークショップ参加者の作品

<第 13 回 TARO 賞作家による 「アルミホイル・スカルプチャー」>

日 程 2011 年 3 月 5 日 (土)、6 日 (日)
講 師 三家俊彦 (岡本太郎賞受賞作家)
場 所 ガイダンスホール、創作アトリエ
参加者 4 歳以上 (小学生以下は保護者同伴) 各日 20 組
申込み 往復ハガキでの事前申込み制
参加料 無料
内 容 岡本太郎生誕 100 年誕生日記念イベントのひとつとして、昨年度の岡本太郎賞受賞者である三家俊彦氏を講師に迎え、親子で参加できるワークショップを行った。アルミホイルとアルミで出来ている日用品 (バーベキュー皿、お菓子の包み紙等) を素材として、基本の造形 (ヒモ、人型、馬型) を学んだ後、自由な発想で沢山の作品を制作。2 日間で合計 210 名が参加した。(3 月 5 日 100 名、3 月 6 日 110 名)



三家俊彦 《The indignant》



■団体受け入れ■

当館では 20 人以上の団体が美術館を利用する場合、無料で岡本太郎紹介ビデオの視聴や簡単なレクチャーを行っています。また、学校や教育機関による団体での鑑賞学習や、美術館を利用したグループ学習については、利用する教育機関側と美術館職員が事前に打ち合わせを行い、対象年齢や学習目的に応じた鑑賞プログラムを作成しています。

平成 22 年度 団体受け入れ実績

月	小・中学校		高校・大学		養護学校など		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	1	59	1	22	0	0	2	63	4	144
5	7	399	2	44	2	73	10	267	21	783
6	5	413	3	143	0	0	3	119	11	675
7	10	786	2	40	1	15	3	59	16	900
8	1	102	1	6	0	0	4	91	6	199
9	15	1,518	0	0	1	17	2	56	18	1,591
10	21	1,999	1	42	4	145	1	142	27	2,328
11	14	1,413	3	82	1	32	4	92	22	1,619
12	12	1,426	0	0	2	69	2	68	16	1,563
1	4	530	0	0	0	0	1	17	5	547
2	4	431	1	40	1	6	5	155	11	632
3	3	217	0	0	0	0	2	89	5	306
合計	97	9,293	14	419	12	357	39	1,218	162	11,287

■教育プログラム■

<職業体験プログラム>

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各 1 時間程度体験。



22 年度実施学校

1. 川崎市立南菅中学校 2 学年 6 名 (2010 年 6 月 23 日・24 日 9:30~15:30)
2. 神奈川県立菅高等学校 1 学年 6 名 (7 月 27 日 9:30~15:30)
3. 川崎市立菅中学校 2 学年 3 名 (8 月 3 日 9:30~15:30)
4. 川崎市立栞形中学校 2 学年 6 名 (8 月 4 日 9:30~15:30)
5. 神奈川県立高等学校インターンシップ 1~3 学年 6 名 (8 月 5 日・6 日 9:30~15:30)
6. 川崎市立西生田中学校 2 学年 1 名 (8 月 12 日 9:30~15:30)
7. 江東区私立かえつ有明中学校 3 学年 6 名 (8 月 24 日 9:30~15:30、8 月 25 日 9:30~12:00)
8. 川崎市立東橘中学校 2 学年 6 名 (8 月 26 日 9:30~15:30)
9. 川崎市立稲田中学校 2 学年 6 名 (8 月 31 日 9:30~15:30)
10. 川崎市立麻生中学校 2 学年 5 名 (9 月 17 日 9:30~15:30)

11. 川崎市立菅生中学校 2 学年 4 名 (9 月 30 日 9:30~15:30)
12. 川崎市立平中学校 1 学年 3 名 (10 月 1 日 9:30~15:30)
13. 川崎市立長沢中学校 2 学年 4 名 (2011 年 1 月 27 日・28 日 9:30~15:30)
14. 川崎市立有馬中学校 2 学年 6 名 (2 月 1 日・2 日 9:30~15:30)

<高校の利用>

22 年度利用学校

1. 神奈川県立高津養護学校高等部 41 名 (2010 年 5 月 14 日)
2. 星槎高校 21 名 (7 月 2 日)
3. 桐蔭学園留学生 22 名 (7 月 14 日)
4. 横浜市立二橋高等支援学校 18 名 (7 月 21 日)
5. 横浜市立桜ヶ丘高校 4 名 (8 月 13 日)
6. 和光高校図書博物館学専攻 23 名 (11 月 5 日)
7. 川崎市立総合科学高校 43 名 (11 月 9 日)

<大学・専門学校の利用>

22 年度利用学校

1. 専修大学経済学部 23 名 (2010 年 5 月 18 日)
2. 横浜国立大学 11 名 (6 月 8 日)
3. 専修大学経営学部 21 名 (6 月 25 日)
4. 日本女子大学 100 名 (6 月 29 日)
5. ウーロンゴン大学 (オーストラリア) 18 名 (7 月 14 日)
6. 玉川大学教育博物館学科 15 名 (8 月 3 日)
7. 目白大学 21 名 (11 月 27 日)

■館外普及活動■

<出張授業>

内 容 美術館から遠い、校外活動は時間がかかるなど、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めます。



22 年度実施学校

1. 川崎市立千代ヶ丘小学校 20 名 (2010 年 7 月 22 日) サマースクール (鑑賞と制作)
2. 川崎市立東生田小学校 25 名 (8 月 23 日) サマースクール (鑑賞と制作)
3. 川崎市立子母口小学校 20 名 (8 月 30 日) 鑑賞と制作
4. 横浜市立奈良の丘小学校 119 名 (10 月 13 日) 鑑賞
5. 川崎市立川中島中学校 40 名 (10 月 23 日) 鑑賞と制作
6. 横浜市立駒岡小学校 93 名 (11 月 25 日) 図画工作科研究授業
7. 川崎市立西生田小学校 179 名 (12 月 6 日) 鑑賞
8. 川崎市立犬蔵小学校 116 名 (12 月 14 日) 鑑賞
9. 川崎市立梶ヶ谷小学校 114 名 (2011 年 2 月 14 日) 鑑賞
10. 川崎市立宿河原小学校 123 名 (2 月 18 日) 制作

<岡本太郎美術館スタンプラリー>

期 間 2004 年 3 月 13 日より開始

認定者数 228 名 [2011 年 3 月 31 日現在]

内 容 川崎市内や都内近郊にある岡本太郎作品を所蔵する施設の作品や情報を掲載。各施設のスタンプをすべて集めることにより、美術館からスタンプラリー認定証と、川崎市岡本太郎美術館、岡本太郎記念館の招待券（各 2 枚）を贈る。（平成 19 年度よりスタンプ設置箇所を変更）

<作品・スタンプの設置場所>

川崎市岡本太郎美術館
 岡本太郎記念館
 等々力アリーナ
 川崎市市民ミュージアム
 大山街道ふるさと館（スタンプのみ設置）

<作品のみ設置場所>

二子神社境内 岡本かの子文学碑
 ミューザ川崎シンフォニーホール
 入江崎スラッジセンター
 川崎市役所第三庁舎 1 階ロビー
 川崎市多摩区役所
 高津市民館
 川崎市立藤崎小学校
 神奈川県立向の岡工業高校



■教材開発と利用■

<ビデオ「岡本太郎の芸術」>

規 格 「岡本太郎芸術を語る」（29 分 50 秒）の短縮版・再編集 18 分

内 容 岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作、フィールドワークなど様々な活動の記録をわかりやすく解説
 ※テロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



<作品プリント>



アートカード
 24 枚セット
 12 × 18 (cm)



ラミネート加工
 36 枚セット
 42.5 × 30 (cm)



フレーム入り
 20 枚セット
 42.5 × 30.5 (cm)

<掲示用大判プリント>

5 枚セット

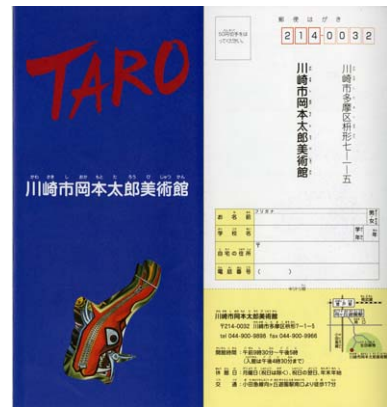
103×144 (cm)



<こども向けパンフレット>

小・中学生向けに岡本太郎の作品を年代順に紹介し、岡本一平・かの子についてや川崎市内に設置されている太郎作品、美術館の案内図などを掲載している。裏面は切り取って使用できるはがきになっており、子どもたちが感想などを自由に書いて美術館へ送ることができる。

(はがきは館内のギャラリースペースにて閲覧可能)



22 年度 子どもからのはがき

小学校	7 校 (457 通)
中学校	0 校 (0 通)
個人 (幼児・児童・生徒)	18 通

■美術館教育研究会■

第 1 回

- 会 期 2010 年 8 月 27 日（金） 14:00～16:00
場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ
議 題
- ① 22 年度上半期の普及事業報告
キッズ TARO2010、ギャラリートーク／美術館探検ツアー／美術館鑑賞ツアー
ワークショップ「夏のかさ大感謝祭」／小学校夏季実技研修／館外普及活動
 - ② 美術館の利用状況について
利用団体、入館者数／中学生夏休み課題での利用／普及教材の貸し出し状況
 - ③ 展覧会事業報告・展覧会事業予定
 - ④ 佐藤利行指導主事より情報提供
美術館と学校教育との連携
 - ⑤ 研究討議
美術館と学校教育の連携のあり方／普及教材の開発と利用について／その他自由討議
- 出席者 小・中学校：尾崎美幸、佐藤利行（教育センター・カキラムセンター）、秋山英樹、石川裕貴（欠席）、紺野清美、
中臣信丈、江野緑朗、北潟美波、堀 政夫、安田 薫
美 術 館：小林正人、大高 修、永野越子、岩崎由紀子、久保麻紀子（記録）

第 2 回

- 会 期 2011 年 3 月 24 日（木） 14:00～16:00
場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ
議 題
- ① 美術館の活動報告
利用状況について（利用団体／入館者数／普及教材の貸し出し）
イベント、講演会等について
教育普及プログラムについて
館外普及活動について
 - ② 展覧会事業報告、展覧会予定について
 - ③ 佐藤利行指導主事より情報提供
美術館と学校教育との連携／その他
 - ④ 研究討議
美術館と学校教育の連携のあり方／普及教材の開発と利用について／その他自由討議
- 出席者 小・中学校：尾崎美幸、佐藤利行（教育センター・カキラムセンター）、秋山英樹、石川裕貴、紺野清美、
中臣信丈、江野緑朗、北潟美波、堀 政夫、安田 薫
美 術 館：小林正人、大高 修、永野越子、岩崎由紀子、久保麻紀子（記録）